

令和三年度を迎えて

園長 松本秀紀



若葉の緑がすがすがしく感じられる季節となりました。ご家族・後見人の皆様、ボランティア・地域・関係機関の皆様の日頃のご支援ご協力に心から感謝申し上げます。

「職員を元気に！利用者笑顔に！みんなが幸せになれる事業団」これが、今年度から始まった中期経営計画における島根県社会福祉事業団の目指す姿です。清風園においても法人の計画に沿って三つの柱と二十の実施策に取り組みます。柱と施策について簡単ですが紹介します。まずは「人が最初の柱で「人材の確保」「人

財への成長」「帰属意識を高めるチームづくり」「他者を大切にする職場風土」などの施策を揃えました。次の柱はサービスの質の向上で「意志決定支援の促進」「加齢に伴う機能低下への対応」「事故防止の強化」などに取り組みます。そして、三つ目の柱で安定的で持続的な経営基盤の確立として「コスト意識の醸成」「今後の事業展開」「施設の統治機能の強化」などをあげました。この柱や施策を横断するものとして地域との繋がりを強くすることを目指します。障がいを持った方の居住の場、日中活動の場として機能はもとより、人材育成、地域での雇用の場、人権に関する意識啓発や障がい者の地域の障がい者の生活を支えるセーフティネットなどの社会資源としての役割を更に発揮していきたいと思えます。さんぽっこをご覧になる皆様には、清風園のステークホルダー(利害関係者)としてご意見を賜りますようお願いいたします。

さて、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の対策に追われる一年でした。清風園、グループホーム、せいふうのサービスを利用される方々の感染予防を第一に考え、職員単位の会食の中止や外出の自粛をはじめ、ご利用者の外泊・面会・外出の制約、ふれあい

祭など行事の取り止めや縮小を行ってきました。ボランティアの皆様と続けてきた交流も中止せざるを得ませんでした。

ウィルスを持ち込まない対策と並行して、地域での感染拡大や施設での感染時に備えた事業継続計画を検討しゾーニング(生活空間分け)など感染時のシミュレーションを行ってきました。改めて多くの方が生活する施設での感染予防の大切さや感染時の職員体制の確保の難しさを実感しました。全国的には、変異型ウィルスが猛威を振るい、大田市においても感染報告がありました。五月中旬から、施設入所、グループホーム居住の六十五歳以上の利用者および職員のワクチン接種が始まり一筋のひかりが見えました。ただ、新型コロナウイルス感染症の終息はまだ先と思われず。

最後に昨年と同じ言葉で締めさせていただきます。「明けない夜はない」安心できる日々が来ることを信じて、職員一同心を落ち着かせ、「利用者を笑顔に！」を心掛け、今に集中してまいります。引き続きご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



新任者紹介

四月一日（木）、五名の方が着任されました。着任式では、一人ひとりの挨拶があり、ご利用者からも歓迎の挨拶をされました。



サービス管理責任者

松尾 卓哉



この度の異動により、出雲市の障害者支援施設光風園から参りました松尾卓哉と申します。清風園は初めての赴任で、これからの毎日をととも楽しみにしております。清風園の実践理念のとおり、利用者の方々の生活を豊かにし、私たちも共に成長できるように励んでいきたいと思っております。これからどうぞよろしくお願いたします。



支援員

山崎 修治



この度、邑南町の障害者支援施設緑風園より異動してまいりました。山崎修治（やまさきおさむ）と申します。五年ぶりに地元大田市で勤務することになりましたが、清風園でお世話になるのは始めてのことですので、色々と教えて頂けたら幸いです。私も早く清風園の雰囲気馴染めるよう頑張りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

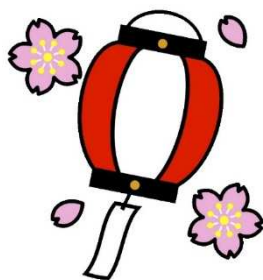


支援員

藤松 夏穂



この度、出雲市にありますが、障害者支援施設光風園から異動して参りました。藤松夏穂と申します。あさひユニットに所属させていただいていますが、ユニットの垣根を越えて、ご利用者、ご家族、職員の皆様信頼され親しみを持っていただけるような支援員になりたいと思っています。よろしくお願いたします。



支援員

竹田 知彦



この度、特別養護老人ホーム
簸の上園より赴任いたしました
竹田知彦と申します。障害
者施設での勤務は初めてで
ても緊張しておりますが、笑
顔を絶やさずご利用者の皆
様と接し支援させていただき
たいと思います。どうぞよろ
しくお願いします。なお、年
齢は四十二歳で、血液型はB
型です。



支援員

山本 恭子



四月から入社しました。
ご利用者の顔と名前を
しっかりと覚えて毎日安
心して生活していただい
けるように勤めていきたい
と思っております。
日々の努力を積み重ね
てがんばりますのでよろ
しく申し上げます。



令和三年三月三十
一日(水)、清風園交
流スペースで令和二
年度退任式が行われ
ました。今年は、六
名の方が異動や退職
をされました。一人
ひとりの挨拶をしてご
利用者や職員との別
れを惜しんでおられ
ました。

転勤・退職者紹介

転勤者

主任支援員

藤原 敬子

(障害者支援施設光風園へ)

主任支援員

上谷 卓司

(島根県聴覚障害者情報センターへ)

支援員

中島 拓司

(障害者支援施設光風園へ)

支援員

松岡 幸造

(特別養護老人ホーム眺峰園へ)

退職者

障害者地域生活支援センターせいふう

センター長

木挽 直美

調理員

遠藤 亜梨沙

支援員

中尾 年男

用務員

堀 晃

第三者委員紹介

今年度、三名の方に第三者委員（苦情解決委員）を委嘱しましたのでお知らせいたします。

清風園、障害者地域生活支援センターせいふう及びグループホームに訪問頂き、生活環境やサービスク内容についてご意見を頂きます。



阪井清治様
（継続）



山崎千里様
（継続）



阪田健嗣様
（新任）



苦情について

令和2年10月～令和3年3月末までに、苦情・要望に関するご意見はありませんでした。

～作品紹介～

こいのぼり



↑
作：つばさユニットの皆さん



↑
作：あすなろユニットの皆さん



←
作：こだまユニット Mさん

編集後記

広報部会ではメンバーを新たに迎え新年度をスタートしました。昨今では、外出自粛などの影響により新しい趣味に手をつけ始めた方も多いと思います。清風園ではご利用者の皆様と季節ごとの飾り付けを創作する機会が増えてきました。そういった日々の様子をさんべっこやホームページを通してお伝えしていければと思います。今年度もよろしくお願いいたします。